



Institute of traditional art practice in Osaka

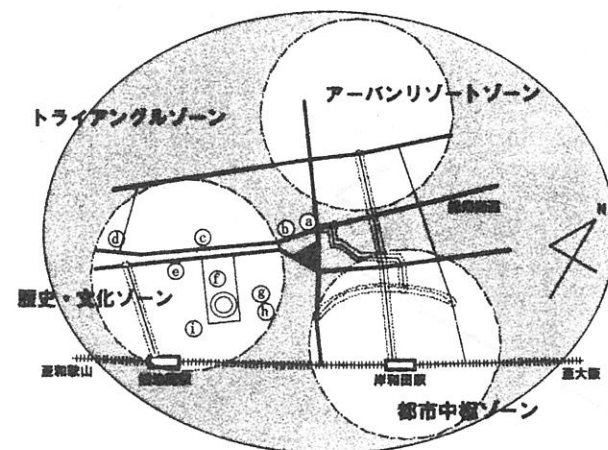
k97076 角田知美

Location

大阪府岸和田市。今でも歴史的・文化的遺産が数多く残っている旧城下町である。また、だんじり祭りで知られている街でもある。岸和田市はこの地に残る数多くの貴重な財産を継承・保存し、岸和田らしい市街地景観の創造を進めている。そして、これらを資源として、観光客の誘致をはかるとともに、新しい文化・芸術活動を支援するなど、文化観光都市づくりに取り組んでいる都市である。

都市中枢として発展してきた岸和田城周辺地域（旧城下町）は、近年人口が減少傾向にあり、地域全体に活力が失われつつある。岸和田市はこの地域を歴史・文化ゾーン、アーバンリゾートゾーン、都市中枢ゾーンの3ゾーンにわけ、これらを結んだ周辺地域をトライアングルゾーンと設定している。そして、トライアングルゾーンそれぞれのゾーンの機能を高めるために整備を進めるとともに、今と昔が共存する城下町をぶらりと散歩することができるような街づくりに取り組んでいる。

計画敷地は歴史・文化ゾーン、アーバンリゾートゾーン、都市中枢ゾーンの3ゾーンを結んだ地域のほぼ中央にあたる。



計画敷地

○ 歴史的・文化的遺産

● 岸和田城

○ 商店街

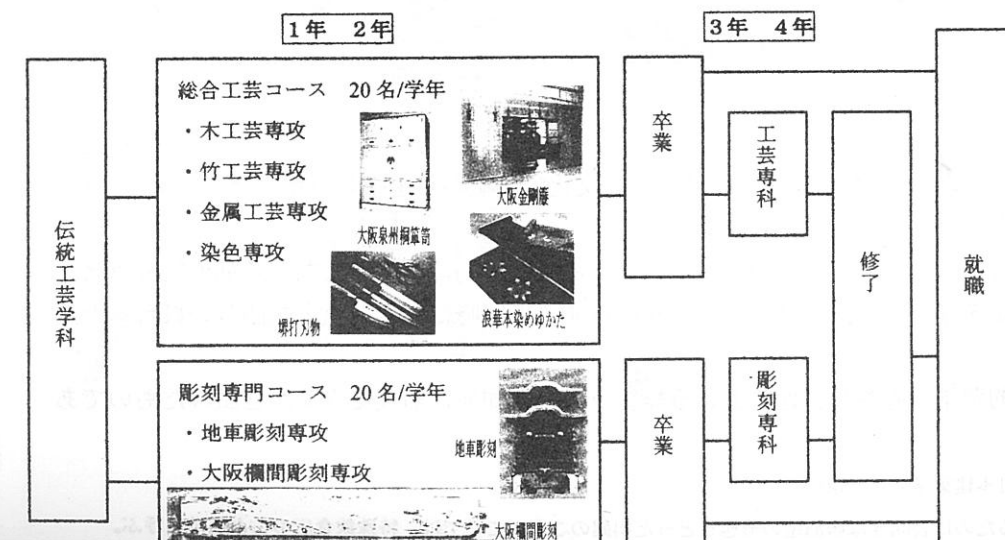
- a 御子橋
- b 自然資料館
- c まちづくりの館
- d 天徳寺
- e だんじり会館
- f 郷土資料館
- g 自泉会館
- h 郷土史資料室
- i 五福荘

Concept

岸和田市のある南泉州には、だんじりの彫刻や大阪欄間彫刻、和泉櫓や桐箆などをはじめとする数多くの伝統工芸品が残っている。工業製品が増加している現代ではあるが、「モノ」に対する価値観は、「量から質」へと変化し、ホンモノ、個性的なモノが求められるようになってきた。しかし、伝統工芸品の需要はそれほど多くはなく、これらの技を受け継ぐ後継者も年々少なくなっているという。

文化芸術活動が盛んであり、多くの歴史的・文化的遺産が残っている岸和田市。都市中枢地域の過疎化、大阪府の伝統工芸品における諸問題を考慮し、この地域に伝統工芸品の職人を育てるための工芸学校を計画する。よって、この地域の活力を取り戻すこと、数多くの伝統工芸を未来へと伝えていくことを目的とする。

敷地周辺には岸和田城をはじめ、多くの歴史的・文化的遺産、古くからある商店街なども残っており、岸和田市が取り組んでいる街づくりの一つである「今と昔が共存する城下町の散歩コース」において、ここが一つのスポットとなるよう、地域に開かれた学校とする。



指導教員名 伊藤洋子教授

<伝統工芸学科>

【総合工芸コース】

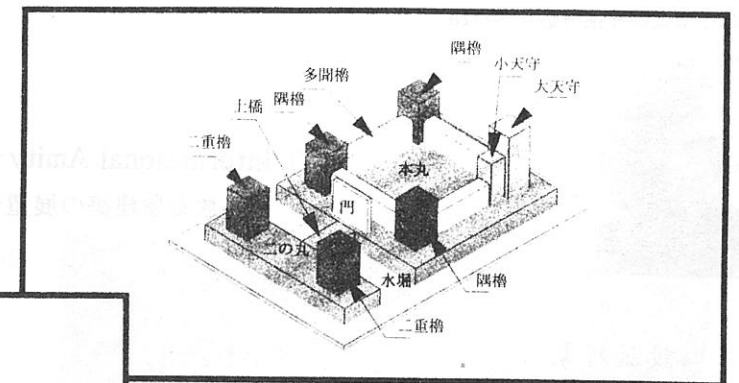
大阪の伝統工芸に関連した分野を中心に、伝統的技法や素材などの造形基礎を修得し、各工房で専門研究を展開する。

【彫刻専門コース】

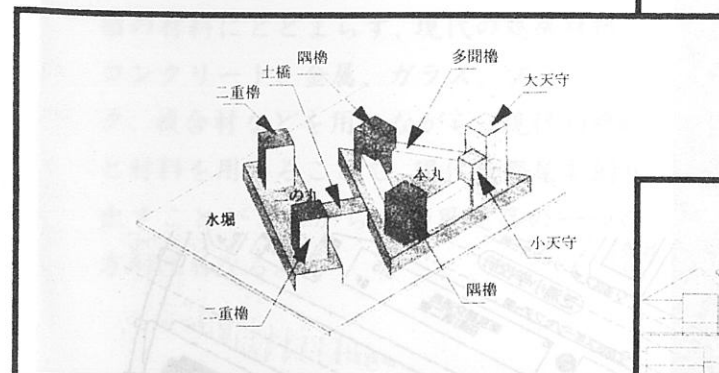
300年もの歴史を持つ大阪木彫についての伝統的技法や素材などの造形基礎を修得し、実技実習を徹底して専門技術を磨いていく。

Project

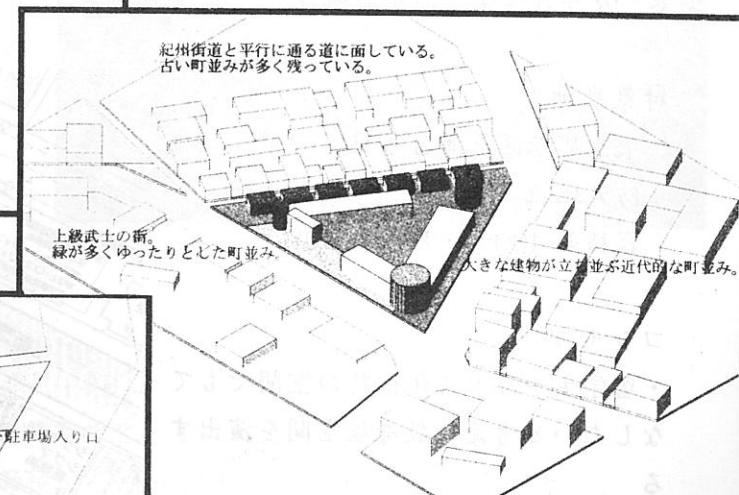
- ・岸和田城の設計要素を用いる。
- ・3面が違った雰囲気を持つ地域に面した敷地。地域との調和をはかるため、3面それぞれに違った表情を持たせる。



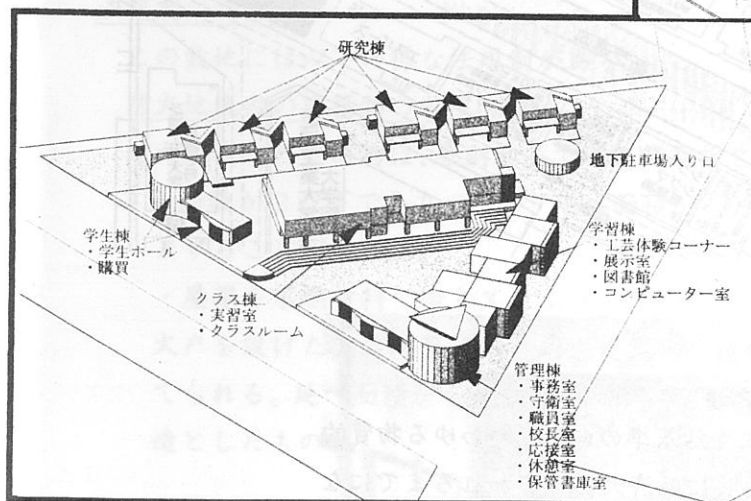
Step 1



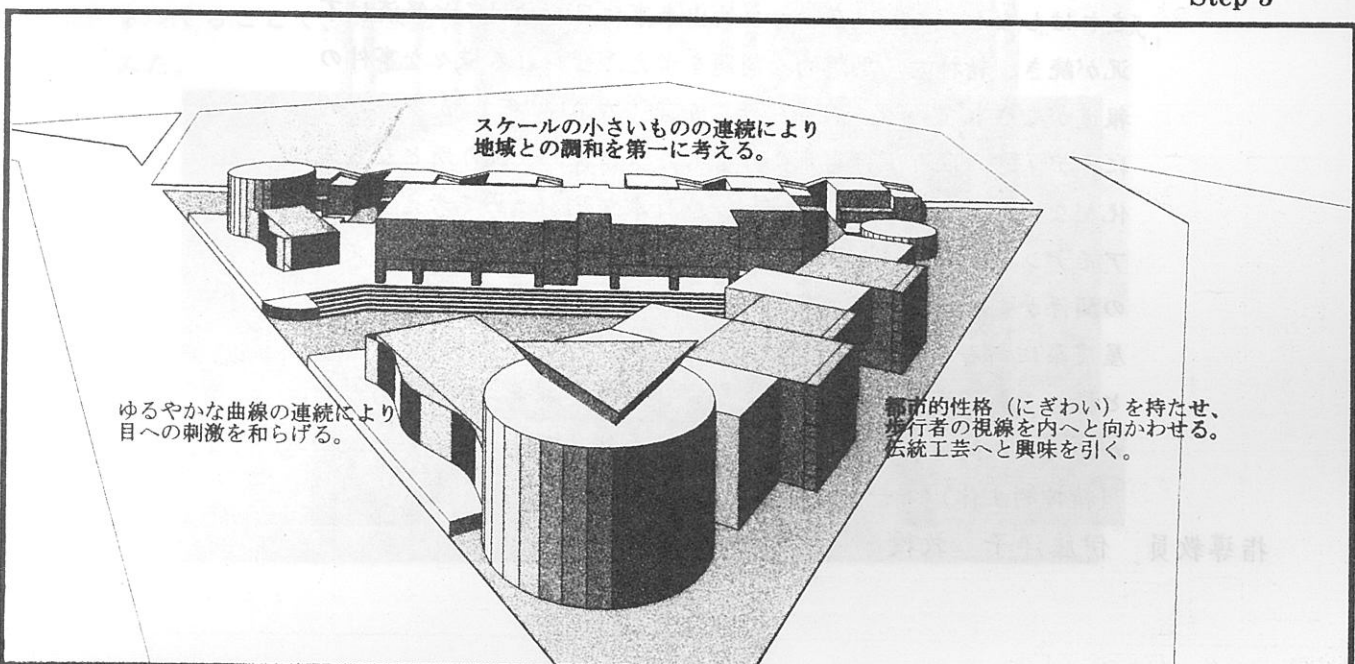
Step 2



Step 3



Step 4



Step 5